



初めに負荷ありき

Life As It Should Be

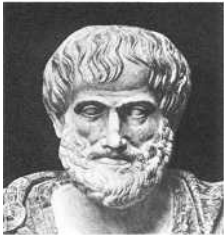
永田円了

人生を生きるには、二つの視点がある。

一つは、すべてを自分の意志に従って生きる“自由で独立した自己を生きる道。(Life as I want to be)
もう一つは、人生を自分に与えられた物語として捉え、“負荷ありき自己”を生きる道。(Life as it should be)

自由な人間とは：哲学者カントの考え

自由とは、自分が自分に与える法則に従って行動すること。自分の目標は、自分で選ぶ。人間は、自分で選ばない限り、いかなる道徳的なつながりにも縛られることはない。人間は、自らつくり出した義務によってのみ、自らを律する。私とは、自らこうありたいと選んだ存在である。



自由な人間とは：アリストテレスの考え

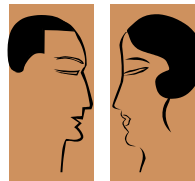
人間は、自己のもって生まれた能力を発揮する場がある限り、自由なのだ。
人間は、本質的に物語を紡ぐ動物である。「私は何をすべきか」という問いに答えるには、まず「私はどんな物語の中で自分の役割を果たそうとしているのか」の問いに答えなければならない。自己とは、たえず負荷をかけられている存在である。

生命の基本仕様は女である



地球が誕生したのが46億年前。そこから最初の生命が誕生するまでおよそ10億年が経過した。そして生命が現れからさらに10億年、この間、生命の性は単一で、すべてメスであった。本来、すべての生命はまずメスとして発生する。メスは太くて強い縦糸であり、オスは、そのメスの系譜を時々橋渡しする、細い横糸の役割を果たす“使い走り”にすぎない。(福岡伸一著『できそこないの男たち』光文社新書)

男の役割：稼ぐ、守る、育む



女の役割：産む、育てる、成長する

<事例>

NHK ハーバード大学白熱教室 アリストテレス vs. カント / 自由で独立した自己 vs. 負荷ありき自己

男の役割：稼ぐ、守る、育む、NHK「おやじたちの夏」9/3/2010

「クレイマー・クレイマー」1979年アメリカ映画、第52回アカデミー賞作品賞、監督賞、主演男優賞、助演女優賞

福岡伸一著「できそこないの男たち」光文社新書 / 生命の基本仕様は女である

黒澤明監督作品「わが青春に悔いなし」1946年制作 / “負荷ありき自己”を必死に生きる主人公幸枝

歌・中森明菜「恋」 / 今生まれてくるとしたら、やっぱり女で生まれてみたい
～ だけど二度とヘマはしない、あなたになんかつまづかないわ～

